

「隊中様」もつと知って

山口・阿東でトークセッション

奇兵隊など長州藩の諸隊で倒幕に奮闘し、維新後の脱隊騒動で犠牲となった隊士を表す「隊中様」をテーマにしたトークセッションが17日、山口市阿東徳佐中の阿東地域交流センターであり、地元住民ら約50人が隊中様に理解を深めた。

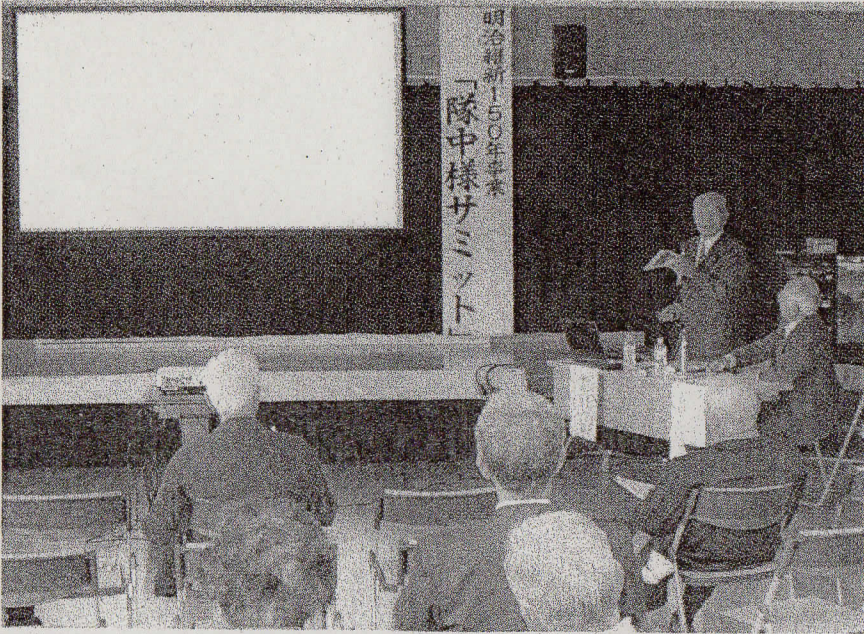
市内の隊中様ゆかりの4地区(平川、宮野、徳地、阿東)から郷土史に詳しい人たちが登壇し、各地区での隊中様の慰霊や顕彰の取り組みなどを報告した。平川隊中様奉賛会の松永範彦会長は隊中様の一人、藤山佐熊の慰霊のための祭礼を毎年4月に墓前で行っていることや、参拝道の整備に努めていることなどを説明し、「平川の隊中様をぜひ見に来てほしい」と述べた。

地域の人たちに隊中様の歴史を知ってもらえれば」と期待を込めた。

トークセッションは幕末長州科学技術史研究会の樹下明紀会長の講話で締めく

くられ、樹下会長は「藩は脱隊した者と農民たちが結び付き、一揆に発展することが恐ろしくて敵しい弾圧をした。脱隊騒動の検証を続けて」と呼び掛けた。

阿東地域づくり協議会の明治維新150年事業実行委員会が隊中様の歴史を掘り起こして光を当てる「隊中様サミット」と銘打ち、同日開催された阿東文化祭・交流センターまつりに合わせて実施した。



地域住民らが「隊中様」に理解を深めたトークセッション17日、山口市